

UNIT 3

学級活動（2） イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

「宮園小安全プロジェクト ～防ごう！地震のときの危険～」

本題材のねらい

地震に関する危険予測トレーニングを行い、小グループで話し合う活動を通して、自分を守る行動を率先してとることや事前に備えておくことが周りの人を守ることにつながることを理解し、それを踏まえた自分の安全行動目標を決定することができるようにする。

学校安全の領域	災害安全
SEL-8S の学習領域	<ul style="list-style-type: none"> ・他者への気付き ・対人関係 ・責任ある意思決定 ・生活上の問題防止のスキル ・積極的・貢献的な奉仕活動

事前の指導

もし地震が起きたら、どう行動するか考えよう。

活動の流れ

- ①事例を読み、自分ならどう行動するか、どうしてそう思うかワークシートに記述する。

事例 夕方4時10分。あなたは、ちょうど友だちのひろしくと一緒に学校から出てきて、門の前で信号待ちをしていました。そのとき、突然大きな地震が起こり、立っていられないほどの揺れが1分間続きました。

そして、「近くにいる児童のみなさんは、体育館へ避難してください。」という放送が入りました。その後しばらく余震が続いています。

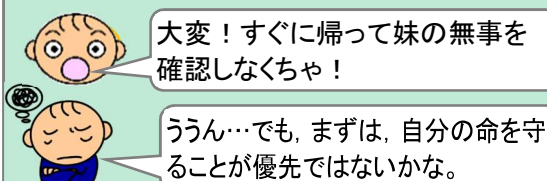
あなたの家までは、歩いて10分かかります。家では、2年生の妹が先に帰って留守番をしています。

あなたは、家に帰りますか？



- ②グループになり、「はい」か「いいえ」を書いた紙を一斉に出す。人数が少なかった方から、理由を言う。

- ③「はい」「いいえ」それぞれの意見をグループ毎に発表する。



災害が起きたときの危険回避の方法について関心をもたせます。結論は出さず、本時の中でも考えさせます。

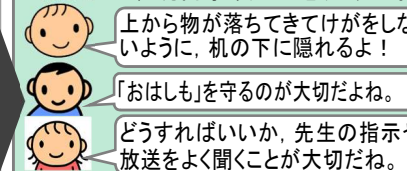


本時

導入



- ①地震が起きたらどう行動をとればよいか、既習事項から想起する。



上から物が落ちてきてけがをしないように、机の下に隠れるよ！

「おはしも」を守るのが大切だね。

どうすればいいか、先生の指示や放送をよく聞くことが大切だね。

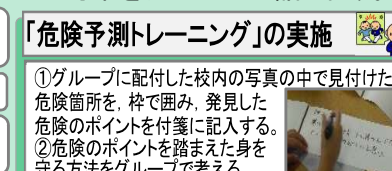
もし、あなたが廊下にいるときに、地震が起きたら、教室の中に入って机の下に潜りますか？

- ②本時のめあてを確認する。

展開1



- ③危険箇所と危険を回避するための対策をグループで話し合う。



「危険予測トレーニング」の実施

①グループに配付した校内の写真の中で見付けた危険箇所を、枠で囲み、発見した危険のポイントを付箋に記入する。

②危険のポイントを踏まえた身を守る方法をグループで考える。

潜在的危険がない実際の校内の写真等を使って考えさせることで、潜在的危険を読み取る技能を高めます。

できるだけ廊下の真ん中で頭を守ってしゃがめばいいと思う。

縦割り掃除のときには、1年生もいるから、声をかけて一緒に机の下に潜ろう。

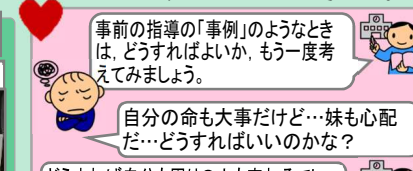
「周りの人を守る行動」が出なかった場合は、他学年の児童が周囲にいる状況（縦割り掃除等）で考えさせます。

地震が起きた時間帯や場所によって、その場にあった身の守り方を考える必要があることを理解させます。

展開2



- ④災害の時に自分も周りの人も守るためにはどうしたらよいか考える。



事前の指導の「事例」のようなときは、どうすればいいか、もう一度考えてみましょう。

自分の命も大事だけど…妹も心配だ…どうすればいいのかな？

どうすれば自分も周りの人も守れるでしょうか？グループで話し合ってみましょう。

自分を守るためには、体育館に避難するのが一番安全だと思う。

妹が自分の命を守るように、家族で避難方法を決めておいたらいいかもね。

実際に災害が起きているときには、自分も周りの人も両方守るのは難しいので、まず自分の命を優先して守る行動をとること（周りの人の避難行動につながる）、そして災害に備えておくことが、周りの人を守ることにつながります。

自分を守る行動を率先してとることや災害に備えておくことが周りの人を守ることにつながることを理解させます。

終末



- ◇自分の安全行動目標を決定し、「できたかなカード」に記入する。

災害等が起こった時のために、日頃から心掛けることを考えてみましょう。

児童の安全行動目標の例

朝、家族と話をして、今日の家族の予定を聞いておく。

理由 もし災害が起こっても、家族がどこにいるかわかるので、それぞれが自分を守る行動をとることができるから。

放送が鳴ったときには、静かにするように周りの人に言う。

理由 きちんと情報を聞いて、自分や周りの人を守るため。

自分の安全行動目標の記述が難しい場合には、グループで見付けた対策の中から自分に合うものを選びましょう。

事後の指導

できたかなカード

できたかなカード 6年1組 番 氏名

自分の安全行動目標

自分の安全行動目標を守ることができたら、色をぬりましょう。

日頃

ふりかえり

友達から

先生から

実践

- ◇自分の安全行動目標について1週間の自己チェックを行う。

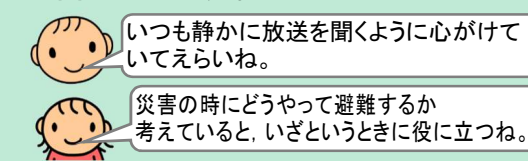
自分の安全行動目標が守れたか振り返ろう。

活動の流れ

- ①自分の安全行動目標について振り返る。

- ②ペアで取組を確認し合う。

- ③ペアの人の「できたかなカード」によいところを褒めるコメントを書いて返す。



取組や、実践して感じたことを、ペアで交流させ、がんばりを認め合わせることで、実践の継続化を図ります。



板書例

宮園小安全プロジェクト ～防ごう！地震のときの危険～

めあて 地震から身を守る方法を、みんなで協力して考え、自分の安全行動目標を決めよう。

地震から身を守る方法

- ・できるだけ廊下の真ん中で頭を守りながらしゃがむ。
- ・給食から離れてしゃがむ。

自分を守る行動

（自分や）周りの人を守る行動

津波（命）てんでんこ



近くにいる友だち「あなた」を見て一緒に避難する。

あなた



率先して自分を守る

別の場所にいる家族



災害が起こる前に、備えておく。

自分を守る行動を率先してとることや、災害に備えておくことが周りの人を守ることにつながる。

日頃から心掛けることは？

- ・放送が鳴った時には、静かにするように周りに言う。
- ・朝、家の人と、今日の予定を確認する。

自分の安全行動目標

〇朝、家族と話をして、今日の家族の予定を聞いておく。→もし、災害が起こっても、家族全員が無事に過ごすために、それぞれが自分を守る行動をとることができるから。

〇放送が鳴ったときには、静かにするように周りの人に言う。→自分も周りの人も守るため。→相手の気持ちを考えたら、トラブルにならないと思ったから。

展開2
自分も周りの人も守る方法を提示します。

終末
児童が考えた自分のトラブル防止行動目標とその理由を板書します。

もし地しんが起きたら...

6年1組 番

氏名

夕方4時10分。あなたは、友だちのひろしくんと一緒に下校中です。門の前で信号を待っていると、突然大きな地しんが起こり、立ってられないほどのゆれが1分続きました。

学校からは「近くにいる児童のみなさんは、体育館へひなんしてください。」という放送が入りました。あなたの家までは歩いて10分。家では2年生の妹が先に帰って留守番をしています。

あなたは家に帰りますか？

どちらかに○をつけてね。

家に帰る人は

体育館にひなんする人は

はい ・ いいえ

ねえねえ、
どうする？



理由

ひろし

UNIT 3で使った「できたかなカード」

できたかなカード

6年1組 番

氏名

自分の安全行動目標

自分の安全行動目標を守ることができたら、色をぬりましょう。

日付	/	/	/	/	/	/	/
ぬ守 ろ う た ら 色 を							

友達から

ふりかえり

先生から

UNIT 4

学級活動（2） イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

「宮園小 安全プロジェクト ～みんなで防ごう！ 宮園小の危険～」

本題材のねらい

小グループで話し合い、宮園小安全プロジェクトで学習したことを安全行動の標語やキーワードにまとめ、低学年の児童に分かりやすく伝える活動を通して、自分や周りの人の安全について考えて行動することの大切さを理解し、それを踏まえた自分の安全行動目標を決定することができるようにする。

学校安全の領域	生活安全・災害安全
SEL-8Sの学習領域	<ul style="list-style-type: none"> 自己への気付き 他者への気付き 責任ある意思決定 人生の重要事態に対処する能力 積極的・貢献的な奉仕活動

事前の指導

低学年の人に分かりやすく伝えよう

活動の流れ

①低学年の児童に伝える活動を実施する意義を理解する。

宮園小みんなの安全のためには、6年生だけじゃなくて、みんなに知ってもらうことが大切です。

低学年の担任の先生から、「低学年の人に分かるように伝えてほしいな」と言われたよ。

②ペアでロールプレイを行うことを通して、低学年の児童にわかりやすく伝えるためには、どうすればよいか考える。

③全体で、低学年の児童に分かりやすく伝えるための方法を、交流する。

低学年の人に分かる言葉で、短い言葉で伝えるといいね。

相手が分かっているか、相手の表情を確認しながら言うように伝えるね。

④もう一度ロールプレイを行う。

ワークシート

どう声をかけますか？

今日は、初めての縦割り掃除。あなたの担当場所はトイレです。1年生の子が、掃除の仕方が分からず、困っているようです。あなたなら、どのように声をかけますか？

どんなことを言うかな？

どんなことに気を付けるかな？

宮園小全体の危険を防ぐために、宮園小安全プロジェクトで学習したことを低学年の児童に伝える活動に関心をもたせます。

本時

導入

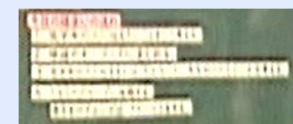


①宮園小安全プロジェクトで学習したことを振り返る。

これまで学習で使った「できたかなカード」などを見て振り返ってみましょう。



②本時のめあてを確認する。
③活動の流れを確認する。

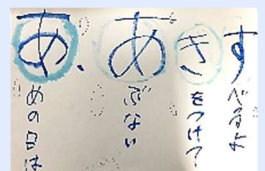


見通しがもてにくい児童のために、話し合いの流れを黒板に掲示します。

展開1



④宮園小安全プロジェクトの学習の中から、低学年の児童に伝えたいことを小グループで話し合い、伝えるための標語やキーワードを考える。



相手意識をもちにくく、低学年の児童に伝えるにはどうすればよいか考えにくい児童がいるグループには、事前の指導で学習した低学年の児童に分かりやすく伝える方法を想起させます。

グループ学習に入りにくかったり、批判的になってしまったりする場合には、話し合いのルールをもう一度確認させます。

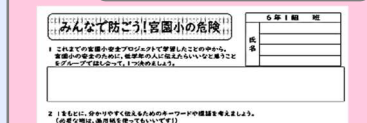
展開2



⑤グループで考えた標語やキーワードについて、隣のグループと説明し合う。

低学年の人に分かりやすいように笑顔で伝えたいです。

笑顔ではきはきと話していたので分かりやすかったです。



⑥「低学年児童に伝える活動」において気を付けることを自己決定する。

終末



⑥「低学年児童に伝える活動」において気を付けることを自己決定する。

「低学年児童に伝える活動」で気を付けること

低学年の人の目を見て、分かっているか確かめながら伝えたい。

宮園小安全プロジェクトでの学習を振り返らせ、身に付いた社会的能力等について児童を称賛する言葉掛けを行い、「低学年の児童に伝える活動に意欲的に取り組めるようにします。」

事後の指導

低学年の児童に伝える活動

①3グループに分かれて、第1学年、第2学年の各教室で説明を行う。



活動の振り返り

②「低学年の児童に伝える活動」の振り返りを行い、グループで共有する。

安全行動目標の設定

③宮園小安全プロジェクトで学習したことを基に、自分の安全行動目標を設定する。



振り返り

④自分の安全行動目標について振り返り、ペアで確認し合う。

⑤ペアの人の頑張りに対する称賛のメッセージを「がんばったねカード」に記入する。

ペアで頑張りを認め合わせたり、それぞれの児童の頑張りを学級全体で共有して認め合わせたりすることにより、自尊感情を高め、実践の継続化を図ります。

板書例

宮園小安全プロジェクト ～みんなで防ごう！ 宮園小の危険～

めあて 宮園小安全プロジェクトで学習したことを、低学年の人に分かりやすく伝えるために、みんなで協力して考え、標語やキーワードにまとめよう。

低学年の人に伝えるためには

- ・大きい声でゆっくり言う。
- ・低学年の人が分かる言葉で伝える。
- ・動作を付けて伝える。
- ・画用紙に書いて、指差しながら伝える。
- ・目線を合わせて話す。
- ・内容が分かっているか、相手の表情を確認する。
- ・やさしい話し方で伝える。

今日の話し合いの流れ

- ①学習したことの中から、伝えたいことを一つにしぼる。
- ②標語やキーワードを考える。
- ③画用紙にまとめる。（必要な班）
- ④低学年の人に伝えるには、どんなことに気を付けたらよいかを考える。
- ⑤隣のグループに説明する。

これまでの学習の振り返り

けがをしないためには、自分だけでなく、周りの人のことも考えて行動することが大切

インターネットなどでやりとりをするときにも、相手の状況を考えて確認したりすることが大切

自分を守る行動を率先してとることや、事前に備えておくことが周りの人を守ることにつながる

展開1

見通しがもてにくい児童のために、活動の流れを黒板に掲示します。

導入

これまで宮園小安全プロジェクトで学習したことを想起させます。

どう声をかけますか？

6年1組 番

氏名

今日は、初めての縦割り掃除。あなたの担当場所はトイレです。
1年生の子が、掃除の仕方が分からず、困っているようです。
あなたなら、どのように声をかけますか？



1年生



6年生

どんなことを言うかな？

どんなことに気を付けるかな？

みんなで防ごう！宮園小の危険 ～低学年の人に伝えよう！～

6年1組 番

氏名

低学年の人に伝えるときに、どんなことに気を付けますか？

目標を達成できましたか？あてはまるものに○をしてね。



バッチリ



まあまあできた



できなかった

先生から

ふりかえり



できたかなカード FINAL

6 年 1 組 番

氏
名

宮園小安全プロジェクトで学習したこと全体から… 自分の安全行動目標



自分の安全行動目標を守ることができたら、色をぬりましょう。

日付	/	/	/	/	/	/	/
ぬ 守 れ た ら 色 を							

どんなことを勉強したか、おうちの人にお話してみてくださいね！

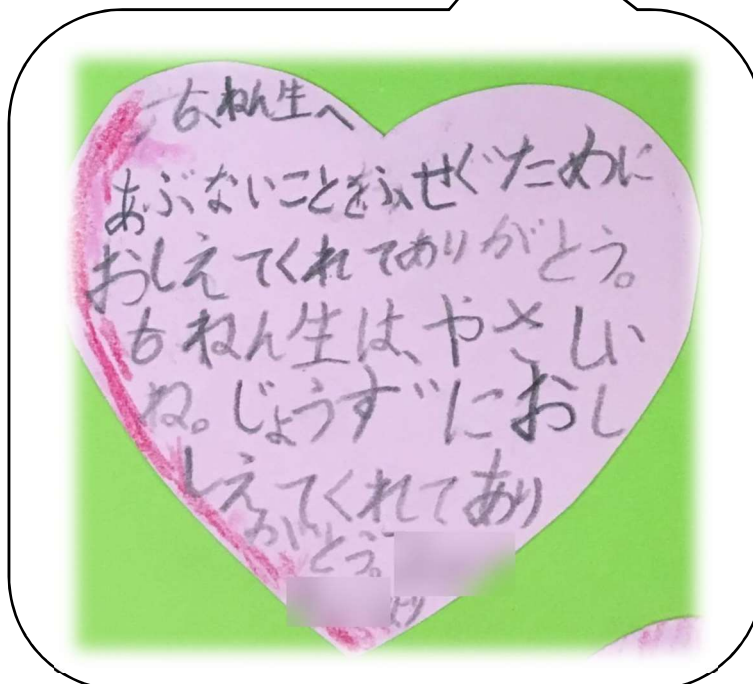
おうちの方から 一言

宮園小安全プロジェクト ふりかえり

宮園小安全プロジェクト 全体を通した ふりかえり

先生から

1年生からのメッセージ（UNIT4 「低学年に伝える活動」後）



4 個別の保健指導

集団での「心の健康づくりを取り入れた『危険予測トレーニング』」を実施しているにもかかわらず、不注意や相手意識の弱さによるけがが起きるなどの課題がある児童に対して、視覚的支援を取り入れた個別の保健指導を行いました。

① 個別の保健指導の目的

実際に起きてしまったけがに対して、危険予測の流れを基にして振り返ることで、けがの原因を明確にし、危険回避の方法を考えることができるようにします。また、同じような状況のときに危険を予測できるようにします。

② 個別の保健指導の流れ

ア 指導の機会

実際にけがをして保健室を来室した際に、保健室での応急処置をしながら、あるいは応急処置直後の事後指導として、養護教諭が行います。

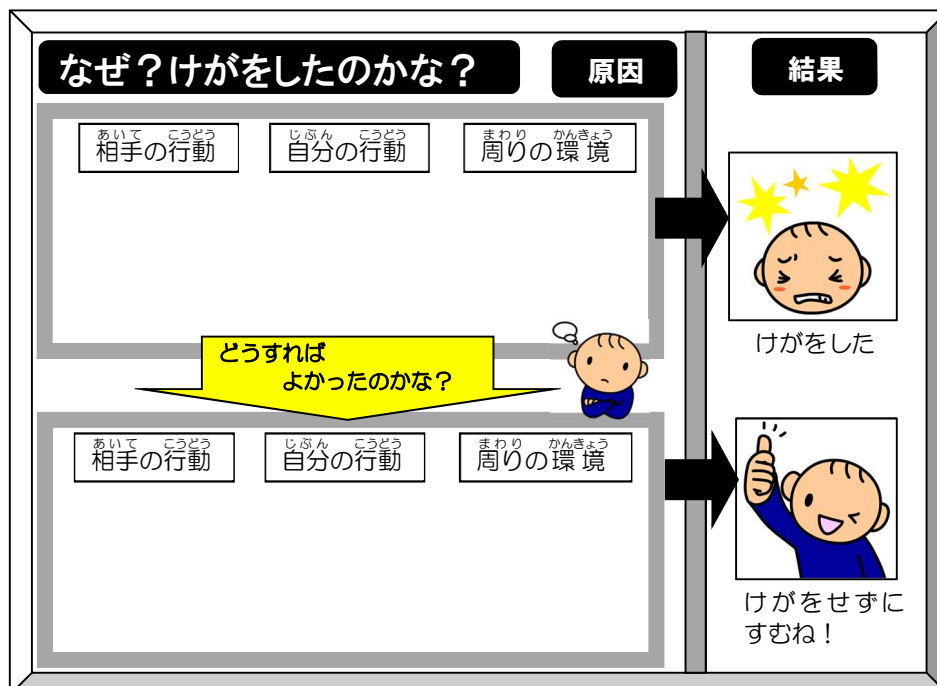
イ 指導の方法

カードを使用し、児童と一緒に確認しながら、けがの原因と回避方法を考えます。



③「なぜ？けがをしたのかな？」の使い方

ホワイトボードは、このようになっています。ここに、けがの原因の「なぜ？けが！カード」や、けがを防ぐ方法の「けが防止カード」を選ばせ、貼っていきます。



ア けがの原因を考えさせる。

なぜ？けがをしたのかな？

原因

結果

あいて こうどう
相手の行動

ぼーっとしていた
(ね不足)

じぶん こうどう
自分の行動

イライラしていた

まわり かんきょう
周りの環境

問題なし！

けがをした

どうすれば
よかったのかな？

原因

結果

じぶん こうどう
自分の行動

けがをせずに
すむね！

まわり かんきょう
周りの環境

問題なし！

けがをせずに
すむね！

けがの原因（「自分の行動」「周りの環境」、相手があれば「相手の行動」）を考えさせ、「なぜ？けが！カード」の中から選別せて貼らせます。

特に問題がないところは、「問題なし！」カードを貼らせます。

イ どうすればけがを防げたか、けがの回避方法を考えさせる。

なぜ？けがをしたのかな？

原因

結果

あいて こうどう
相手の行動

ぼーっとしていた
(ね不足)

じぶん こうどう
自分の行動

イライラしていた

まわり かんきょう
周りの環境

問題なし！

けがをした

どうすれば
よかったのかな？

原因

結果

あいて こうどう
相手の行動

よくねておく

じぶん こうどう
自分の行動

深呼吸する

まわり かんきょう
周りの環境

問題なし！

けがをせずに
すむね！

どうすればけがを防止できたか、回避方法を「けが防止カード」の中から選別せて貼らせることにより、けがを防ぐ方法を視覚的に理解させます。